

東京農工大学

農学サイエンスフェスタ 2019

11月8日(金) 9日(土) 10(日)

10:00~17:00 ※最終日は16:00まで

場所：農学部本館2階（府中キャンパス）
東京都府中市幸町3-5-8

内容：ポスター発表 21件





東京農工大学農学部へようこそ

自然と人生が共生するために「農学」から私たちの未来が始まる



農学部長 千葉 一裕

農学は自然と人のつながりを支え、未来を創造します

「農学」は自然と人のつながりを基盤とした学問です。

人は社会の中で自然の恵みを享受し、自然と共生しながら生活を続けています。しかし近年、私たちは食料・資源問題、人口問題、地球温暖化に伴う異常気象や環境問題、感染症をはじめとする様々な疾病など、大きな課題に直面しています。このような課題解決に向かって努力することは、農学を学び探求するものの使命です。そのためには、植物、動物、微生物、あるいは里山や河川、海洋、土壌、大気など、自分たちにとって身近にある自然や、地球規模での大きな自然のしくみにもしっかり目を向け、社会の成り立ちや自然現象を科学的に深く理解することが大切です。

私たちと決して切り離すことができない自然とのつながりの中で、農学を通じ、調和を保つ持続的な社会の構築を共に目指したいと思います。

ポスター発表 一覧(1~21)

番号	タイトル	発表者
1	福島農業復興支援研究「営農再開地域における先進的なオーガニック作物生産技術の開発」(福島イノベーション・コースト構想促進事業)	大川泰一郎(研究代表者)
2	除染により貧栄養となった福島県水田土壌で緑肥を長期的にすき込んだときの土壌有機物量への効果の予測	光田侑子・田中治夫・川崎裕也・李 哲揆・杉原 創・大川泰一郎
3	泥だんご作りをしながら土壌について学ぶことで子どもの土壌への感じ方がどう変わるか	光田侑子・田中治夫・杉原 創
4	セルロースの物質探求研究が生み出すブレイクスルー	四方俊幸・吉田誠・堀川祥生・半智史
5	今、木質バイオマスが面白い	中西千聡、日置優人、暮井達己、松尾風香、津島梨乃、平野聖也、堀川祥生
6	持続可能開発目標(SDGs)とプラスチック問題	高田秀重・水川薫子
7	Toward sustainable cocoa production in West Africa with successional agroforestry systems developed in the Brazilian Amazon: an agricultural adaptation to climate change	Atsushi CHITOSE, Masaaki YAMADA, George Oduro NKANSAH, Shiho KAGAMI, Akira, HOSHIKAWA, Yoshikazu TAMURA, Makiko TAGUCHI, Kazuyuki FUJIWARA Helio Makoto, UMEMURA and Aziz Abdulai ADAMS
8	ヘアリーベッチ栽培跡地におけるダイズ等の生育促進現象—根圏環境の頑健性向上に貢献	藤井 義晴・Mardani Hossein・海田 るみ・Parida Taheri・本林 隆・岡崎 伸・桂 佑介・笹本 浜子・横山 峰幸・小松崎 勝一(茨城大学)・櫻井 望(国立遺伝研)・松田 一彦(近畿大学)・中安 大(京都大学)・杉山 暁史(京都大学)
9	絵本に描かれるイヌとネコのイメージと人との関係	島谷日菜子・甲田菜穂子
10	動物介在活動中のイヌの行動に影響を与える要因	村田美和・島野知ひろ・吉田直矢・甲田菜穂子・出口善隆
11	花やダイズの色がRNA干渉により決まるしくみ	飯田笑美・森安珠・山梨里歩・福原敏行
12	明るい未来を拓くタンパク質	岩佐和志、大八木彩子
13	農工大農学部教職履修学生による中学生との交流	降旗信一
14	都市近郊林のフィルター効果に及ぼす降雨の影響	渡辺基生・宮原宇彦・戸田浩人・崔東壽
15	コナラと共生する外生菌根菌の感染率と立地の関係	塚谷奈古・戸田浩人・崔東壽
16	ウサギ大腸神経系の構造	柴田秀史・Ahmad Faisal Amiry・木賀田哲人
17	猫の慢性腎炎の予防・治療を目的とする猫モルビリウイルス病原性の研究	古谷 哲也、クリピット スタマポン
18	オゾン水の家禽病原体不活化試験	小野瑞季、大王千聖、Md. Amirul Hasan、Md. Humayun Kabir、佐々木家治、竹原 一明
19	水酸化カルシウムの鶏アデノウイルスおよびトリレオウイルスの不活化効果	大王千聖、小野瑞季、Md Amirul Hasan、Md Humayun Kabir、佐々木家治、竹原一明
20	ラット、マウスの各種疾患モデルを用いた毒性・有効性評価系の開発	伊藤優子・中島康太・増渕康哲・菊地聡美・岡野拓・高橋康徳・余沁蔓・高嶋和己・吉田敏則・渋谷淳
21	ホルモン・ワクチン	セントラルリサーチ株式会社 高松 太郎